

セカンドライフセミナー

～多様で豊かな人生を実現するために～

2021年12月25日

Will人材経営コンサルティング株式会社

代表取締役 谷 進二

本日のアジェンダ

1. プロローグ（高齢者意識の現状、就労意識、平均寿命等）
2. セカンドライフの5つの選択肢
3. 再就職すること、企業の立場から考えてみよう
- 4. どのようなセカンドライフを歩むか**
 - シニア期の働き方・生き方と自己研鑽、エンプロイアビリティ
- 5. 自分価値を見つけて安心感を**
 - ライフ・キャリアのデザイン
 - キャリアの棚卸（外的キャリア、内的キャリア）
6. 年金で安定的な生活を
7. 自分の未来予想図
8. 健康とメンタルケアの重要性

本日のセカンドライフセミナーの必要性

- 生涯現役のために自分がすべきことは「**意識改革**」
 - 定年後の人生の新たな出発という覚悟
 - 再雇用で働く（継続雇用）
 - 現役時代の仕事を活かし、資格を取って働く（新たな就職、独立）
 - 前職にこだわらず働く（新たな一歩）

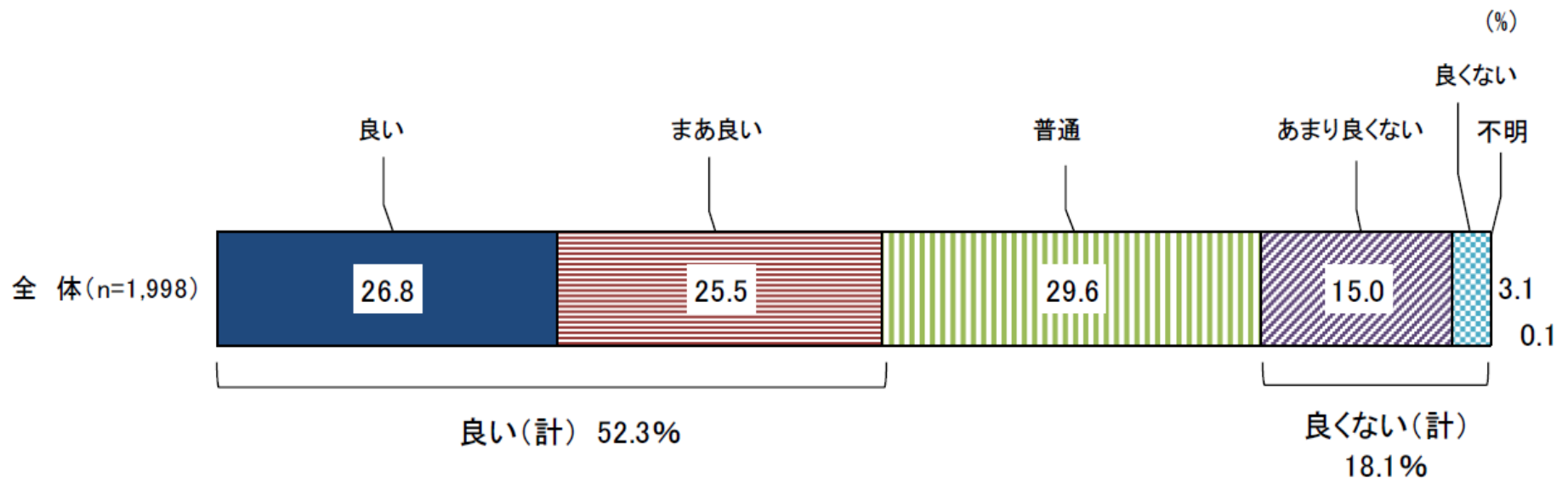
生きがい・働きがいを見つける
自分の価値を活かす

就業と生活のバランスを考える
健康維持・家庭環境も考えて！

人生終着駅までの収支予測
給与・報酬、年金

高齢者の健康に関する意識

- 全国の55歳以上(平成29年1月1日現在)の男女個人3,000人を対象に調査



○ 結果

(出典)平成29年 高齢者の健康に関する調査結果

- 都市規模別：大都市ほど『良い(計)』が高い。特に、大都市では「良い」が31.6%。
- 性別：大きな差はみられない。
- 年齢別：男女ともに年齢の高い層ほど、健康状態は『良くない』が高い。

高齢者雇用安定法の改正

【70歳までの就労確保措置】（65歳から70歳の努力義務）

○ 雇用延長

- 定年引上げ ⇒ 安心感とやる気、キャリアプランに組み込む
- 雇用継続 ⇒ 安心感とやる気、伝承期間として活用
- 定年廃止 ⇒ 安心感とやる気、生涯現役

○ 就労確保

- 起業し業務委託契約で働く ⇒ フリーランスで、法人の社長で
- 会社がNPO活動企業を設立し、転職する

○ 留意点

- 働きやすい労働環境の整備
 - 多様な雇用形態、柔軟な勤務体系
 - 雇用形態に関わらない公平な待遇の確保
 - シニア用賃金制度、評価制度の構築
- 組織の活性化
 - 高齢者能力の全社化共有によるダイバーシティ組織の構築

企業が高齢者を活用することによるメリット

企業にとってのメリット

労働力の
確保

技術や
ノウハウ
の伝承

生活の
安定
自己実現

個人にとってのメリット

高齢者を有効に活用することで、経験豊富なシニアのノウハウを会社のスキルとして残せるとともに、高齢者にとっても生活の安定や生きがいにつながる。

60歳代のセカンドキャリアは自分の価値観から

- 60代のセカンドキャリアは自分の価値観から選ぼう
 - 「バリバリ仕事をしたい！」
 - 「のんびり過ごしながら仕事をしたい」
 - 「お金が欲しい！」
 - 「時間を大事にしたい」
 - 「どんな人生を歩みたいか」で働き方・生き方を決める！！

シニアのキャリアの考え方

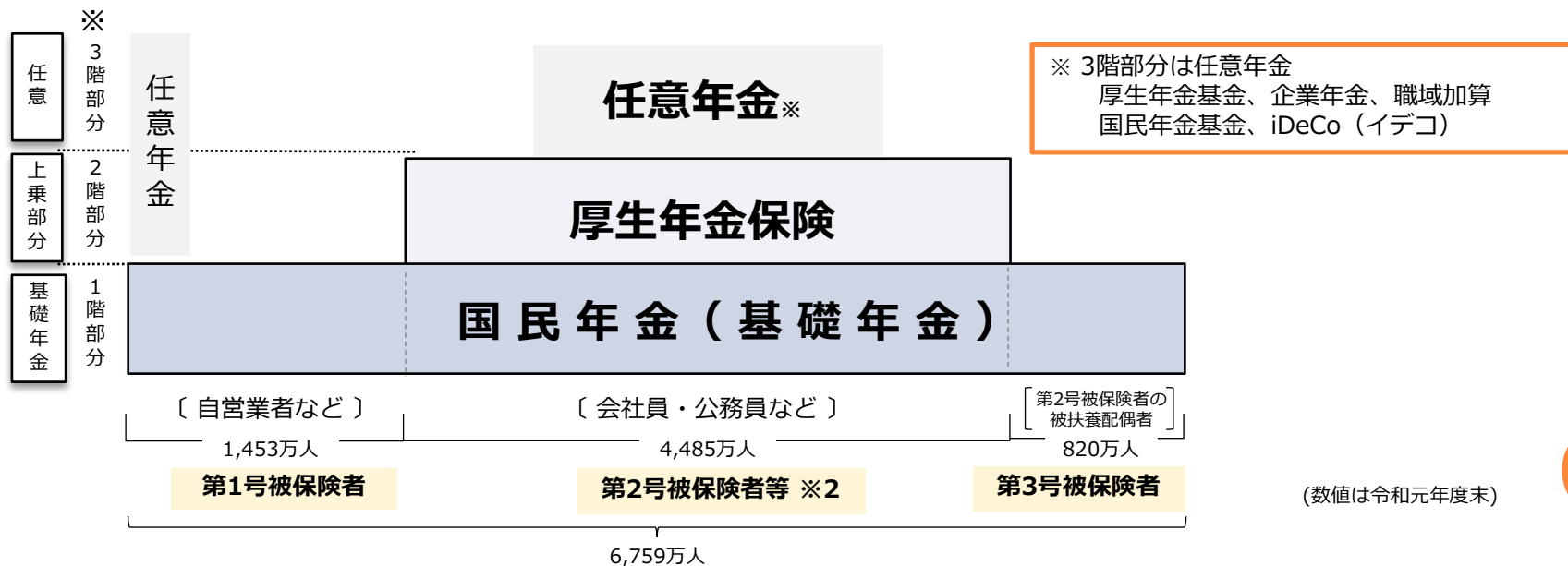
- シニアキャリアの考え方
 - 働く目的の整理
 - 例：収入を得る、自己実現を果たす、社会に貢献するなど
 - 自分の価値観の整理（生活において・仕事において）
 - 今後希望する働き方
- これからのキャリアで実現したいこと、目指したいこと（働く目的）
 - これまでの職業人生の棚卸
 - どんな「知識・技術・経験」を活かすことができるか、活かしたいか
- 中小企業で活かしたい「知識・技術・経験」
 - 各世代の特徴を活かす
 - 社会におけるシニアの役割

公的年金制度の仕組み

- 日本の公的年金制度は、みんなで支え合う社会保険制度

2階建て構造

		加入する人	支給開始年齢
1階	老齢基礎年金	20歳以上60歳未満の すべての方が加入	65歳
2階	老齢厚生年金	会社員・公務員が加入	65歳



家計の資産/負債 (バランスシート)

(円)

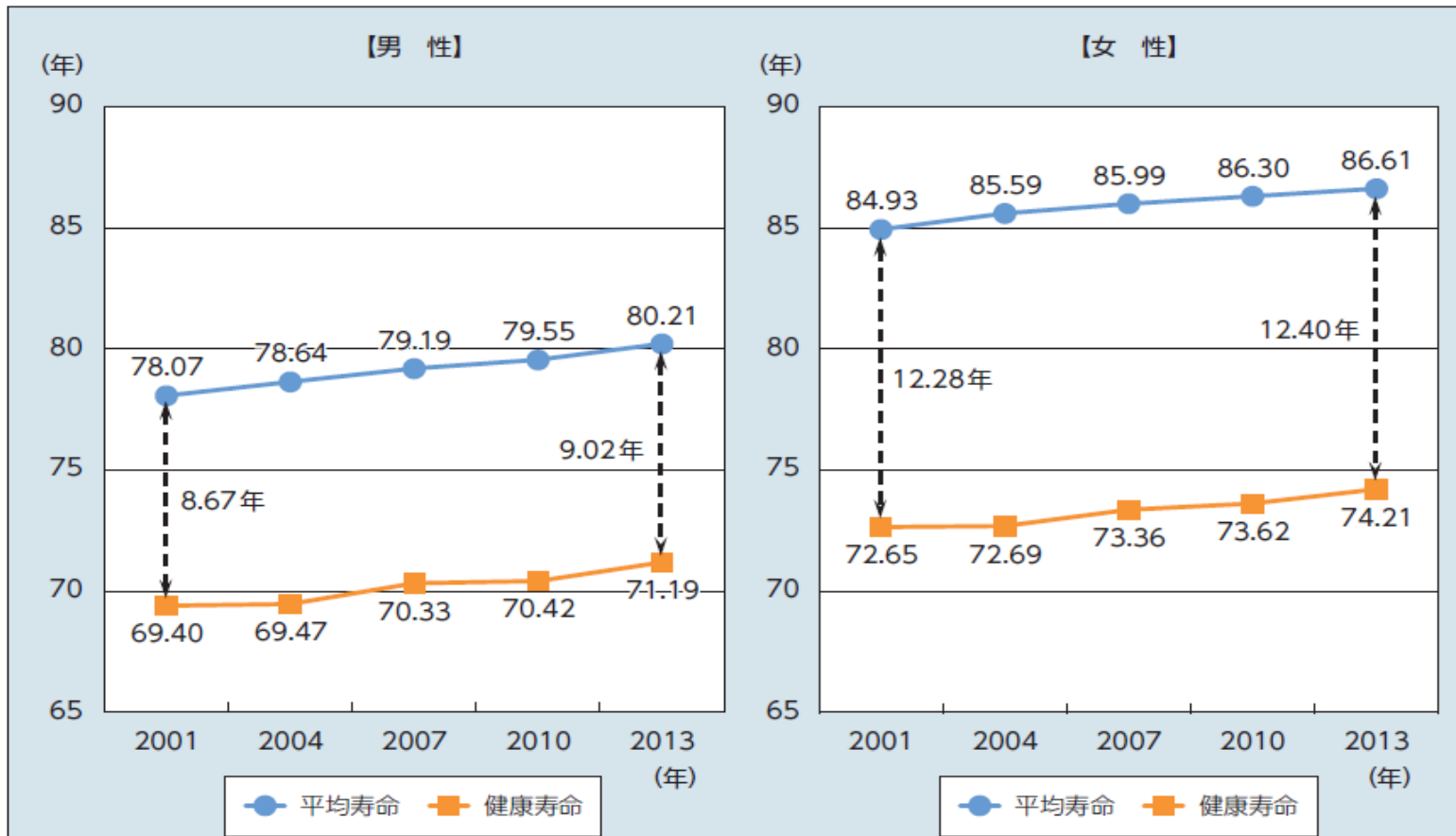
資産		資本			
現金・預金	現金	負債	借入金		
	普通預金		住宅ローン		
	普通預金		自動車ローン		
	定期預金		カードローン		
	郵便局定期		奨学金		
	外貨		その他		
有価証券	投資信託				
	株式				
流動資産	小計	0	負債合計	小計	0
住宅	(現在の市場価格)				
土地・不動産	(現在の市場価格)				
生命保険	(解約返戻金)		純資産	【資産 - 負債 = 純資産】	0
退職金積立額	(確定拠出年金等)				
他					
他					
固定資産他	小計	0	純資本	小計	0
資産合計		0	資本合計		0



左側(資産)と右側(負債・純資産)の合計が一致するのでバランスシートという

平均年齢と健康寿命

- 12年間で平均寿命、健康年齢とも1.6-1.8歳伸びている



資料：平均寿命：2001、2004、2007年、2013年は、厚生労働省政策統括官付人口動態・保健社会統計室「簡易生命表」、2010年は、厚生労働省政策統括官付人口動態・保健社会統計室「完全生命表」
 健康寿命：2001～2010年は、厚生労働科学研究補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」、2013年は、「厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料」（2014年10月）

意識と行動を変える。

- 高齢者の意識と行動をどう切り替えるか？
- 能力に見合った業務・責任
- 賃金以外の付加価値（目的意識・達成感）

